

科目ナンバー： BC1032

授業コード： 2230100300

講義科目名称： 看護援助論Ⅱ

英文科目名称： Nursing Care Ⅱ

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員			
◎岡村典子、川島良子、谷内田潤子、山岸美奈子			
添付ファイル			

授業種類	【開講】 前期	【授業時間】 15時間		
	【担当教員】			
	【氏名】 ◎岡村 典子 川島 良子 cn. ac. jp 谷内田 潤子 cn. ac. jp 山岸 美奈子 cn. ac. jp	【所属】 新潟県立看護大学 新潟県立看護大学 新潟県立看護大学 新潟県立看護大学	【研究室】 216 206 共同研究室 1 共同研究室 5	【メールアドレス】 norio@niigata-cn. ac. jp kawasima@niigata- yachidaj@niigata- yamagisi@niigata-
	実務経験のある教員が担当します。			
	【本学の科目区分】 専門科目			
	【保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める種類】 看護師課程			
	【DP1】 【DP2】 【DP3】 【DP4】 【DP5】 【DP6】 【DP7】 ○ ◎			

到達目標	1. 看護過程、及び看護過程の各段階の概要について理解できる 2. 看護過程を展開する際の基盤となる批判的思考・科学的思考について理解できる 3. 事例を通して看護過程を展開することができる			
授業概要	看護過程・看護過程の各段階、及び看護過程の基盤となる批判的思考・科学的思考について学ぶ。さらに、事例を用いた看護過程の展開を通して、批判的思考・科学的思考の意義・必要性を理解するとともに、看護過程の修得を目指す。講義は、個人ワーク（毎回の授業における課題への取り組み）、グループワークで進めていく。			
授業計画	1	授業内容 授業形態：講義 学修課題：看護過程展開の基本的考え方1 学修内容：問題解決思考としての看護過程 看護過程の構成要素、看護過程の各段階 事前学修：自分の体験を踏まえ、問題解決についてまとめる。 事後学修：看護過程の各段階の概要を説明できるよう、振り返る。 備考：岡村		
	2	授業内容 授業形態：講義 学修課題：看護過程展開の基本的考え方2 学修内容：批判的思考・科学的思考を基盤とした看護過程 事前学修：批判的思考・科学的思考について調べ、分からない点を明確にしておく。 事後学修：授業内容を踏まえ、事前学修にて分からなかった点についてまとめるとともに、解決できない場合は教員に質問する。 備考：岡村		
	3	授業内容 授業形態：講義 学修課題：看護の事例展開技術1 学修内容：看護過程におけるアセスメント① 情報収集の枠組み 情報収集の方法 情報の分類・整理 事前学修：事例を提示する。事例の内容をよく読み、不明な点を事前に調べる（インターネットは禁止する）。 事後学修：事例に基づき、記録用紙に看護展開を記録する（講義中に説明する）。 備考：川島		

	4	授業内容 授業形態：講義 学修課題：看護の事例展開技術2 学修内容：看護過程におけるアセスメント②-1 情報の解釈・分析 事前学修：事例の内容で、不明点を事前に調べる（インターネットは禁止する）。 事後学修：看護展開を記録用紙に記録する（講義中に説明する）。 備考：川島
	5	授業内容 授業形態：講義 学修課題：看護の事例展開技術2 学修内容：看護過程におけるアセスメント②-2 情報の解釈・分析 事前学修：事例の内容で、不明点を事前に調べる（インターネットは禁止する）。 事後学修：看護展開を記録用紙に記録する（講義中に説明する）。 備考：川島
	6	授業内容 授業形態：講義 学修課題：看護の事例展開技術3 学修内容：看護過程におけるアセスメント③ 関連図の記載 事前学修：第1回の講義内容を振り返り、「関連図」とは何かを説明できるようにする。 事後学修：授業時に配布された看護援助論Ⅱアセスメント用紙の関連図を描き、看護上の問題を○で囲む。 （問題の明確化については第7回の授業時に取り組む）
	7	備考：谷内田 授業内容 授業形態：講義 学修課題：看護の事例展開技術3 学修内容：看護過程におけるアセスメント④ 看護過程における問題の明確化・目標設定 関連図から導く看護問題の明確化 目標設定 事前学修：第1回の講義内容を振り返り、「看護診断；看護問題の明確化」とは何か、問題点のリストに おける優先順位決定について説明できるようにする。 事後学修：授業時に配布された看護援助論Ⅱ看護計画用紙に看護目標を記載する。（具体策の立案・結果・ 評価については第8回の授業時に取り組む）
	8	備考：谷内田 授業内容 授業形態：講義 学修課題：看護の事例展開技術4 学修内容：看護過程における計画立案 看護過程における実施・評価 事前学修：事例について情報収集・アセスメントから抽出した看護上の問題に対し看護目標を立案する。 事後学修：事例について看護計画を立案し、看護過程を完成させ期限までに提出する。 備考：山岸
評価方法、評価基準		到達目標1、2、3については、試験にて評価する。 ・期末試験70%：期末試験として、目標達成度を最終的に評価する。 併せて、到達目標3については、課題及び学習態度にて評価する。 ・課題20%：課題内容は、学習の進捗に応じて講義時に説明する。 ・学習態度10%：グループワークに主体的・能動的に取り組んでいるかについて評価する。
必携図書		Virginia Henderson 湯慎ます他訳：看護の基本となるもの、日本看護協会出版会。
参考図書・資料等		任 和子著：実習記録の書き方がわかる看護過程展開ガイド、照林社。
受講、課題、資料配布等のルール		授業は時間の中で順序立てて進めていくため、20分を超える遅刻や途中退席は欠席とみなし、遅刻3回で1時限分の欠席とする。なお、出席日数が規定に満たない学生は試験を受けることはできない。 学習課題の順番は変更する場合がある。
教員からのメッセージ		看護実践を裏づける考え方を身につける大切な授業です。しっかりと学んでください。
オフィスアワー		時間があえばいつでも